

1 基本構想の概要趣旨

(1) 策定の目的

光駅周辺地区は、光市都市計画マスタープランにおいて、都市拠点地区の一つに位置付けており、**交通機能や環境整備を進め、都市機能の集積と高度化を図る地区**としています。

また、第2次光市総合計画では、目指す将来像「ゆたかな社会 ～やさしさひろがる 幸せ実感都市 ひかり～」の実現に向けて、特に重点的かつ戦略的に取り組むべき政策である「光・未来創生プロジェクト」の一つに、『ゆきかう光！JR光駅の橋上化と交通ネットワーク強化プロジェクト』を掲げています。

本基本構想は、地区を取り巻く環境なども踏まえつつ、**本拠点整備の方向性や全体像を明らかにするために策定するものであり、本地区におけるまちづくりの方針**となるものです。

(2) 期間

概ね20年後の都市の将来の姿を見据えて、基本構想に基づく**各種取り組みの事業化までの期間を、概ね15年**とします。

また、今後の取り組みを展開していく目安として、事業化までの期間を短期と中・長期の2区分に分けることとし、事業の優先順位などを踏まえつつ、段階的に取り組みを進めます。

3 整備の基本的な方向性

本地区の課題を踏まえ、3つの視点から整備の基本的な方向性を整理

～人をつなぐ・人がつどう・人でつくる～

人を つなぐ

誰もが安心して利用できる環境づくり

駅南北地区の連携強化と安全を確保

回遊ネットワークの確保

利用しやすい交通環境づくり

誰もが安心して利用できる環境づくり

駅南北地区の連携強化と安全を確保

回遊ネットワークの確保

利用しやすい交通環境づくり

人が つどう

市内外から人が集まり交流できる“来たくなる場所づくり”

“癒し”を提供する都市空間を創出

にぎわいを生み出す仕掛けについて検討

市内外から人が集まり交流できる“来たくなる場所づくり”

“癒し”を提供する都市空間を創出

にぎわいを生み出す仕掛けについて検討

人で つくる

地区の将来像を共有し、今後のあり方を考えていく

民間のノウハウや企画力、資金などの積極的な活用を検討

本市にふさわしい玄関づくり

地区の将来像を共有し、今後のあり方を考えていく

民間のノウハウや企画力、資金などの積極的な活用を検討

本市にふさわしい玄関づくり

(2) ゾーニング

本地区のゾーン分けを行い、まちづくりの考え方を整理

駅北居住推進ゾーン
良質な居住空間を保持しながら新たな居住者を呼び込むゾーン

幹線道路沿道ゾーン(虹ヶ丘森ケ峠線)
域内交通・通過交通を見据えた商業等が集積するゾーン

駅前交通・交流結節ゾーン
駅及び南北地区をつなぐ交通・交流の結節ゾーン

幹線道路沿道ゾーン(国道188号)
域内交通・通過交通を見据えた商業等が集積するゾーン

駅南市街地ゾーン
周辺の拠点的ゾーンを有機的につなぐ重点的に回遊を創出するゾーン

虹ヶ浜周辺うるおいゾーン
虹ヶ浜海岸とその周辺のうるおいあふれるレクリエーションゾーン

4 本地区に必要な役割と機能

(1) 必要な役割と機能

報告資料1-1

整備の基本的な方向性を踏まえ、本地区に求められる5つの「役割」と、それを実現するための「機能」を整理

役割 1 市民や来光者の利便性を高めるための**円滑接続機能**

施策例

- ▶ 南側・北側エリアの結節強化、機能の充実
- ▶ 市内外からの交通結節機能の充実
- ▶ 駅近接エリアの利便性の向上

役割 2 若者居住を促進するための**QOL*向上支援機能**

施策例

- ▶ 生活の質を高める多様な都市機能の誘導
- ▶ エキソバにある快適な住まいの確保
- ▶ 生活の潤いを実感するレクリエーション空間の創出

役割 3 “来たくなる”魅力を生み出すための**交流・集客機能**

施策例

- ▶ 自然と調和するシンボリックな景観づくり
- ▶ 多世代が滞在・交流できる空間の創出
- ▶ 観光資源の付加価値創出と魅力の波及

役割 4 安全と安心をつくるための**防災(減災)・防犯機能**

施策例

- ▶ 移動の安全性を高める機能やデザインの実現
- ▶ エリアの防災性の確保
- ▶ 安心して利用できる防犯性や交通安全の確保

役割 5 民間力で新しい価値を生み出すための**協働・連携機能**

施策例

- ▶ 民間と行政が連携して取り組む事業の推進
- ▶ 協働と連携の空間づくり
- ▶ まちづくりに触れる機会の提供

*Quality of Life (生活の質)

2 現状と課題

本地区の現況や市民意向などを踏まえ、4つの分野ごとに主な特徴を整理し、本地区の課題を整理

	長所や将来性 プラス + (優れている 優 ・将来性がある 得)	短所や懸念 マイナス - (劣っている 劣 ・懸念がある 懸)
人口	“にぎわい”の創出に不可欠な人口の集積がある 優	人口減、少子高齢化による地域活力の低下とつながりの希薄化 懸
土地利用・建物	低層の建物が多く、都市機能の集積に向け土地の高度利用の可能性 得 日常生活において訪れる人が多く、高頻度の利用者が多い 得	南北の地形に高低差があり、鉄道でまちが分断されている状況 劣 生活利便性、交通利便性、回遊性などの向上が求められている 劣
都市機能	交番が安全・安心の面で本地区全体の支えとなっている 優 虹ヶ浜海岸との連携は、都市の魅力高める大きな可能性を有する 得 都市構造の変化に伴い居住環境の大きな変化が予想される 得 過度な都市化ではなく「自然」を活かした整備が求められている 弱	本地区内には一定の都市機能が立地しているが集積とはいえない 劣 バリアフリーへの対応が不十分で利用の大きな障害になっている 劣 商業機能、医療機能、行政機能、観光交流機能などが求められている 劣 ソフト事業よりハード事業に優先して取り組むことが求められている 劣
交通	交通環境の変化に伴い交通結節点としての機能強化が期待される 得 東西方向のバスは運行便数が多く、一定の高い利便性を有している 優 利用状況から駐車場の規模や土地活用について検討する余地がある 得	公共交通の利用者減により、維持の困難化や利便性の低下が懸念される 懸 バス停が分散して立地し、利便性の低下を招いている 劣 送迎車両や通過交通による混雑で安全性や利便性に不安がある 劣 駐輪場が分散して立地し、混雑による利用マナー低下が散見される 劣

時代の潮流の把握と対応

誰もが安心して利用できる環境整備

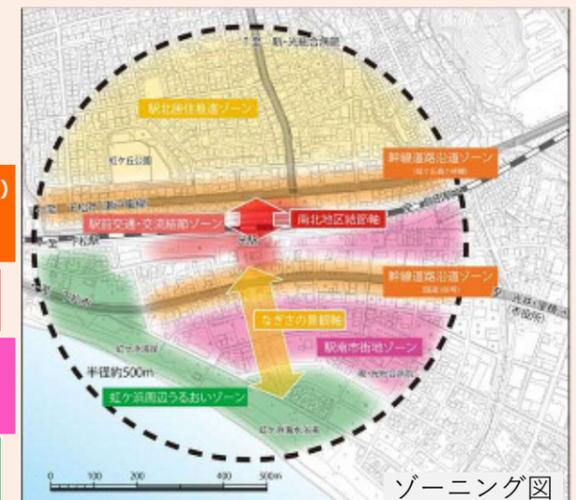
光駅南北地区の連携強化

主要交通結節点としての機能向上

周辺の美しい自然との調和

“にぎわい”あふれる空間づくり

協働と連携による都市拠点づくり



5 本地区の将来構想図（目指す地区の姿）

● ● ● 駅近接エリアの整備コンセプト ● ● ●

- A**〔北口駅前広場を中心としたエリア〕 瀬戸風線の開通や光総合病院の開院を見据え、利便性が高く通院者にもやさしい駅前空間の機能の再配置を行う。
- B**〔南口駐車場・駐輪場を中心としたエリア〕 駐車場機能を維持しつつ、民間活力の活用も視野に、土地の高度利用化も見据えた多様な都市機能の誘導・集約を検討する。
- C**〔南口ロータリーを中心としたエリア〕 海を意識した開放的な空間づくりを意図した開放的な空間づくりの検討とともに、Bと併せて利便性が高く安全な駅前空間の機能の再配置を行う。

具体化の例

「短期」の取組みの一例

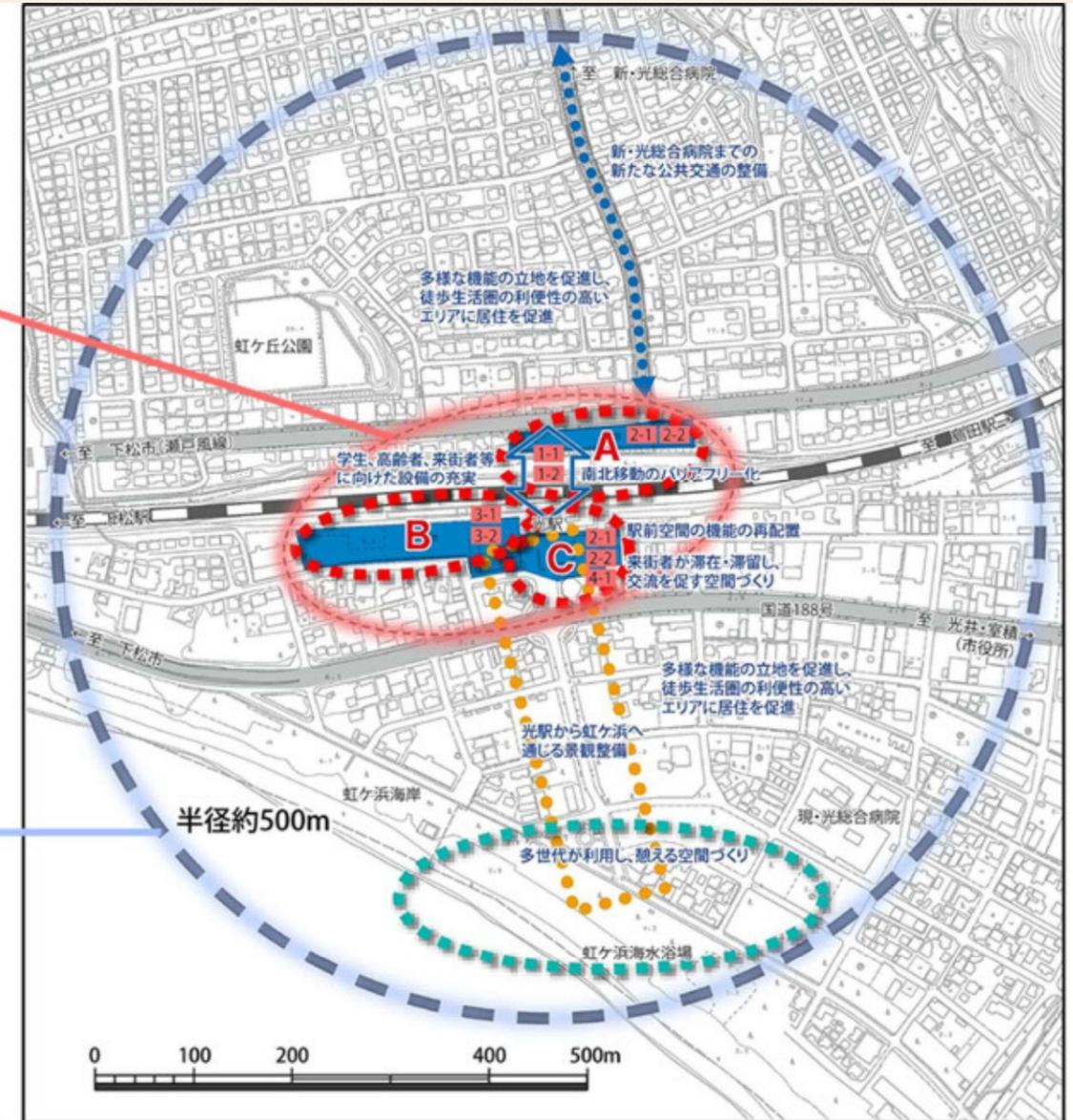
駅近接エリアのハード面を主とした整備

- ① 南側・北側エリアの結節強化、機能の充実
 - ・1-1 JR光駅の橋上化と南北自由通路の一体的整備
 - ・1-2 南北自由通路の充実（歩行者等）
- ② 市内外からの交通結節機能の充実
 - ・2-1 南北駅前広場（駐車場・駐輪場、ロータリー等）の整備
 - ・2-2 乗り換え、送迎環境の充実
- ③ 駅近接エリアの利便性の向上
 - ・3-1 待ち合い環境の充実や滞在空間の確保
 - ・3-2 情報発信機能やトイレ等の利便設備の充実
- ④ 多世代が滞在・交流できる空間の創出
 - ・4-1 多世代が交流できる施設やオープンスペース（広場）の検討
 - ・4-2 待ち合い環境の充実や滞在空間の確保（再掲）

「中・長期」の取組みの一例

魅力ある回遊空間の創出や居住促進につながる取組みを主とした整備

- ⑤ 生活の質を高める多様な都市機能の誘導
 - ・まちの個性や利用者ニーズに合わせた多様な施設等の立地促進（商業施設、子育て空間など）
- ⑥ エキソバにある快適な住まいの確保
 - ・居住誘導策の検討
- ⑦ 生活の潤いを実感するレクリエーション空間の創出
 - ・虹ヶ浜海岸の保全と活用
 - ・ウォーキングなどを楽しめる回遊ルートの検討
- ⑧ 自然と調和するシンボリックな景観づくり
 - ・「まちの顔」としてシンボルとなる施設や空間の検討
 - ・光駅～虹ヶ浜海岸の連続性演出の検討
- ⑨ 観光資源の付加価値創出と魅力の波及
 - ・虹ヶ浜海岸の保全と活用（再掲）
 - ・フォトジェニックな空間の演出



協働・連携の実現
ソフト事業を見据えた整備の検討

同時検討・実施

同時検討・実施

協働・連携の実現
ソフト事業の随時検討・実施

安全・安心に関する取組み

- ⑩ 移動の安全性を高める機能やデザインの実現
 - ・エリアの一体的、連続的なバリアフリー化に向けた検討
 - ・わかりやすい案内サインの検討
- ⑪ エリアの防災性の確保
 - ・一時的な避難場所となるオープンスペース（広場）の検討
 - ・災害に対応する設備等の検討
- ⑫ 安心して利用できる防犯性や交通安全の確保
 - ・照明設備などの設置促進
 - ・乗り換え、送迎環境の充実（再掲）

<施策ごとの事業主体区分>

	短期				中・長期					安全・安心			協働・連携		
施策	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
市	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
民間	◎	◎	○	○	◎	○	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎

※民間：民間事業者、市民、関係団体等
※◎…主たる実施主体、○…一部実施主体、連携主体

協働・連携による取組み

- ⑬ 民間と行政が連携して取り組む事業の推進
 - ・民間と行政が連携した施設整備や機能誘致の検討
 - ・民間活力による地域づくりの調査・研究
- ⑭ 協働と連携の空間づくり
 - ・多世代が交流できる施設の検討（再掲）
 - ・エリア一体で、多様な主体が連携するイベント等の仕掛け
- ⑮ まちづくりに触れる機会の提供
 - ・ワークショップなどの新たなまちづくりの担い手を育成する取組みの推進
 - ・エリア一体で、多様な主体が連携するイベント等の仕掛け（再掲）